

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-385-2043
------	--------------

年度	令和7年度			
施設名	新潟市横越地区公民館		所管部・課	教育委員会中央公民館
施設の設置目的	当館は横越地区の住民を中心に、市民の学びやつながり、想いをカタチしていく場の拠点施設です。施設には地域や人をつなぐ拠点機能や地域課題等に対応する機能が求められ、公民館事業を通して学びや交流の場の支援とともに、地域への愛着と誇りを感じる人や地域育ちに関わる人を育てていきます。			

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R7.7.4
歳入	849	正職員	3	修正日	
歳出	10,825	会計年度任用職員	3	評価日	R8.6.23

No.	視点	目標	評価指標						参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R7結果				
1	市民	基準利用者数の達成	年間利用者数 16,500人以上 (単位:人)	12,221	15,383	16,496	16,500	19,985	令和6年度実績をベースに設定		地域等との連携深化や新規事業など、利用の裾野を広げる工夫をした結果、目標を達成した。	B:達成
2	市民	事業満足度	参加者の満足度調査で『満足』以上の人の割合 95%以上(単位:%)	99	97	98	95	98		主催事業にてアンケート実施	事業への満足度を肯定的にとらえている割合が98%と、目標達成した。	B:達成
3	市民	自主グループ化	自主グループ設立数2件 (単位:件)	2	1	0	2	0	主催事業参加者による自主グループ化を支援	主催事業	講座や事業への満足度は高かったが、参加者同士の関係づくり構築までいかず、目標達成できなかった。	C:未達成
4	市民	こども(0～18歳)利用者の割合	公民館利用者におけるこどもの割合40%以上 (単位:%)	-	-	-	40	39	令和6年度こども利用者の割合39.8% ※公民館利用者(事業・貸館・学習室等)		利用者数増であったが、団体・グループでこどもの参加がやや少なかったことから、目標達成できなかった。	C:未達成
5	財務	施設利用者一人当たりの運営経費	施設利用者一人当たりの運営経費800円以下 (単位:円)	841	646	581	800	526	過去3か年の平均と光熱費の上昇を加味して設定	施設維持管理費の削減(節電や消耗品費等の削減)	利用者数増の中でも、施設の効率的運営に努めた結果、目標達成した。	B:達成
6	財務	施設年間使用料の確保	施設使用料収入年間495千円以上 (単位:千円)	492	488	492	495	546	過去3か年の平均と利用団体増を加味して設定		前年度に比べ年間利用者数増により、前年度比より微増となり、目標を達成した。	B:達成
7	業務	学校・地域団体と協働	年間協働事業開催数10件 (単位:件)	3	7	13	10	13	小中学校、コミ協、NPO、企業地域活動団体等との連携協働	よこごしがつつり塾、こどものあそびば、横越ごはん塾、文化祭、人権啓発講座等	小中学校、地域コミ協、NPO法人等との共有・共感・共動のもと、地域課題等に対応する多様な事業に取り組み、目標を達成した。	B:達成
8	業務	防災・減災(安全確保)体制の確立	消防訓練実施数2回 (単位:回)	2	2	2	2	2		消防訓練(通報・消火・避難・AED操作)	消防計画に基づき、年2回実施。目標を達成するとともに、防災意識の確認・向上を図った。	B:達成
9	人材	人材育成	研修受講の年間回数20回 (単位:回)	26	23	20	20	20	公民館主催研修市・県主催の等研修	・市及び公民館職員研修 ・専門的知識・技術向上研修	生涯学習関係の研修や専門知識・技術向上に資する研修等に参加するなど、目標を達成した。	B:達成
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当公民館は横越地区の住民を中心に、市民の学びやつながり、想いをカタチしていく場として、地域や人との関係づくりを大切にしています。当公民館のランドデザインのもと、学び(事業)を通してコミュニティの形成や人材育成、こどもの居場所・体験、地域育ち等を進めるため、事業の満足度や自主グループ化、こども利用者の割合、学校・地域団体等との協働を指標としています。 また、公費や使用料で運営する公共施設として、計画的かつ効率的な施設管理や利用者の安心・安全性を確保する指標も設定しています。 これら事業の資質向上及び健全な施設管理のため、現場で生かせる職員研修(受講回数)を目標設定しています。	横越地区の住民を中心に、地域や学校等との連携を深化させ、地域とともにある公民館づくりやこどもを中心に学びの場や体験の場の質的向上を行った。方向性は以下のとおりです。 ・新潟市教育振興基本計画で示す「新潟市の教育が目指す人間像」にむけて、社会教育的視点から地域の資源を活かした学びづくり・人づくり・カタチづくりを進める。特に学校と共有 共感 共動しながら、社会教育的アプローチからこどもの学びや成長の場を支援する。 ・当館がもつ物的資源を活かし、だれもが来れる公民館づくりを進める。 ・障がいのある方の学びと社会をつなげるため、横越地区内障がいサービス事業所等と連携し、障がいのある方と社会(地域)をつないでいく場を支援する。